

# ときがわ町 ハイキングマップ



ときがわの森を、山を、川を歩こう、いつでも、何度でも



## Information

ときがわ町観光ガイドブック『ぶらっと、ときがわ』  
ときがわ町の花も、グルメも、体験も、町の魅力をいっぱい詰め込んだ観光ガイドブックをご覧ください。

動く! 『ぶらっと、ときがわ』ときがわ町グルメマップ  
ガイドブックに掲載された飲食店を中心に紹介する「ときがわ町グルメマップ」。町内のカフェやコーヒースタンドなど話題のお店をInstagramの動画でご覧いただけます。

ときがわ町役場  
〒355-0395 埼玉県比企郡ときがわ町大字玉川 2490 番地  
☎0493-65-1521(代表)

(一社)ときがわ町観光協会  
〒355-0354 埼玉県比企郡ときがわ町大字裏匠 479 番地 2  
☎0493-59-8694

このハイキングマップは、埼玉県ふるさと創造資金の支援を受けて作成しました。  
●2024年3月発行  
●発行：ときがわ町

## ときがわトレッキングコース

「慈光寺入口」バス停そばのトレッキングコース駐車場が起点です。数多くの文化財を有する坂東 9 番札所・慈光寺や東国最古の禅寺・霊山院を経て、日本の天文学を支えた堂平天文台（旧東京天文台堂平観測所）まで約 7.5 km のコースです。

慈光寺まで参道の途中には、慈光寺山門跡に青石塔婆（板石塔婆）と呼ばれる板碑が林立します。周辺にはシャガが群生し、新緑の季節に可憐な姿で訪れる人の目を楽しませてくれます。

慈光寺を経由して霊山院から林道を進むと、冠岩下休憩所付近でコースが2つに分かれます。木階段を登るコースは座禅岩、冠岩を経由して杉木立の木漏れ日の中を進みます。木階段を登らずに林道を進むと、ほとんどアップダウンのない道幅の広いコースです。やがて2つのコースは舗装路（赤木七重線）で合流し、七重休憩所に至ります。

七重休憩所から林道（栗山七重線）で七重のヤマザクラ付近を通りながら進み、七重峠休憩所から森の広場までは林道を進みます。森の広場からゴールの堂平天文台まで一気に登る木製階段は、このコース最大の難所です。一歩一歩急がず進み、松の木峠でベンチに座って一休みすれば、堂平山山頂（画像）はもう一息です。



## ときがわ水辺の道

埼玉県の事業「川のまるごと再生プロジェクト」により、町の中心を流れる都幾川沿いに整備された約 7.3 km にわたる遊歩道です。

川上は別所地区の別所橋付近に、川下は大字玉川の和田地区にそれぞれ起終点が設定され、飛び石（上の画像）も複数設置されています。また平ノ内橋と玉川橋、市川橋と岡前橋の間は、河川の両岸にそれぞれコースが設けられています。

コースには季節を実感できる草花や田園風景をはじめ、県内最古のアーチ橋で日本の近代土木遺産（土木学会）に指定された玉川橋（玉川地区）や、JR 八高線が都幾川を渡る様子を真下から見上げることのできる都幾川橋梁（下の画像・番匠地区）など、川にまつわる見どころがいっぱいです。

コースの一部は「スモールチェンジコース」として町民の健康づくり事業に活用されています。



## ハイキングコースの見どころ



**巨木**  
越沢稲荷の大スギ（上・大野平岡遊歩コース）  
大カヤ（右上・大薬城跡岡遊歩コース）  
姥煙（右下・大薬城跡岡遊歩コースの先）



**巨岩**  
男鹿岩（上・弓立山岡遊歩コース）  
女鹿岩（左上・堂山雷電山岡遊歩コース）  
三波溪谷（左下・里山コース）

## 景観コース

主に町の東側に設定されたコースで、起点となる明覚駅には駅前駐車場が整備されています。

小倉城跡・愛宕山岡遊歩コースは、川北橋から岡前橋まで「ときがわ水辺の道」（上の画像）を通り、本郷地区を横切って玉川温泉そばから森林内を進み、国指定史跡の小倉城跡まで足を延ばします。城跡で特徴的な石積（下の画像）を見学した後は、地元農産物を直売するふれあいの里たまがわを経由して、愛宕山山頂に立ち寄るコースです。

里山水辺岡遊歩コースは、小倉城愛宕山岡遊歩コースの玉川温泉入口からホテルの里公園を経由して、県道飯能寄居線沿いに瀬戸地区まで進み、馬場地区を経由して八高線沿いに出るコースです。

※二次元バーコードから小倉城跡のホームページにアクセスできます。



## 里山コース

主に町の中央部に設定されたコースで、三波溪谷駐車場が起点です。

弓立山岡遊歩コースは、奥武蔵の低山ハイキング唯一の眺望の標高 426m の弓立山山頂上（画像）から、手打ちそばが好評のいこいの里大附や、地元農産物を直売する木のむら物産館を経由するコースです。巨岩・男鹿岩まで登れば、頂上はすぐそこ。春になると桃木地区の桃木農村公園ではカワツザクラが、八幡神社周辺では花桃やソメイヨシノが咲き誇ります。

堂山・雷電山岡遊歩コースは、本郷地区の堂山山頂上に登り、尾根伝いに雷電山を目指すコースです。尾根道はアップダウンが少なく、快適に歩くことができます。雷電山山頂上から雲河原集落に下ったら、巨岩・女鹿岩に立ち寄るのもおすすめ。

雷電山・雀川ダム岡遊歩コースは、堂山雷電山岡遊歩コースの雷電山山頂上から日影地区の雀川砂防ダム公園に下り、再び堂山へ登って起点に戻ります。

起点周辺の河川沿いは、長い歳月を経て御御鮮緑色岩（みかぶりがよくしよくがん）が造り出した景勝地の三波溪谷が見どころです。ハイキングの疲れを癒すことのできる日帰り温浴施設・都幾川四季彩館もおすすめです。



## チャレンジコース

主に町の西側の山間に設定されたコースで、トレッキングコース駐車場が起点です。

大野・野平岡遊歩コースは、ときがわトレッキングコースの途中から大野地区の木のみらキャンプ場を通過し、柗平地区のくぬぎむら体験交流館を経由して西平地区に戻るコースです。

大薬城跡岡遊歩コースは、萩日吉神社の南側から越生町との境を進み、戦国時代の山城の大薬城跡に至ります。城跡からは西平地区方面、城跡をやや下ると柗平地区と堂平山方面の眺望（画像）が開けます。氷川を渡りくぬぎむら体験交流館を経由して西平地区に戻るコースです。

くぬぎむら体験交流館のそばには、巨木の越沢稲荷の大スギにつながる散歩道「くぬぎの七曲（なまがり）」が整備され、ロウバイ、スイセン、花桃、カワツザクラ、菜の花、ミツバツツジ、アジサイなどの花が月替わりで開花しますので、ぜひお立ち寄りください。

さくら山公園コースは、県道を西交差点まで進み、ハイキング道で慈光山歴史公園に至るお手軽なコースです。特に春先は、慈光寺を経由して霊山院から舗装路を下るコースで慈光山歴史公園に植えられた「里桜コレクション」を鑑賞することができます。



## 首都圏自然歩道

首都圏自然歩道（関東ふれあいの道）は総延長約 1,800km、関東地方一都六県をぐるりと一周する長距離自然歩道です。東京都八王子市の梅の木平を起終点に、高尾山、奥多摩、秩父、妙義山、太平山、筑波山、霞ヶ浦、九十九里浜、房総、三浦半島、丹沢などを結んでいます。

埼玉県のコースは東京都との境である榛ノ嶺から始まり、奥武蔵、黒山を通り秩父地方を北上し、三波峡峡を通過して群馬県と結ぶ延長約 155.5km、13 コースが設定されています。

ときがわ町内には「時の歴史をしのびみち」（正丸駅～白石車庫バス停）、「グリーンラインに沿ったみち」（吾野駅～白石車庫バス停）のそれぞれ一部が、町の南西側の外縁部に設定されています。



**花、紅葉**  
堂平天文台の紅葉（左上・ときがわトレッキングコース）  
霊山院のサクラとミツバツツジ（右上・ときがわトレッキングコースなど）  
小倉日枝神社のシダレサクラ（右・小倉城跡愛宕山岡遊歩コース）

## ご利用ください ときがわ町 乗合タクシー

### 乗合タクシーってどんな乗り物？

予約した共通乗降所から乗車できるワゴン車（最大 8 名）です。同じ時間帯に同じ方向への予約が重なる場合、他の乗客と一緒に乗車するため「乗合タクシー」と呼んでいます。

町内の共通乗降所を順番に回りながら、乗客がそれぞれの目的地で乗り降りします。乗り降りできるのは共通乗降所だけです。町から出る場合は、路線バスまたは明覚駅から八高線をご利用ください。

### ハイキングが目的でも利用できる？

どなたでも 1 人から利用できます。利用登録はスマートフォンから簡単にでき、登録した日から利用できます。ハイキングを始める地点への移動はもちろん、歩き疲れた時に気軽にコース上の共通乗降所から利用できるのも便利です。

ご利用の場合は、希望する時間の 30 分前までに予約をする必要があります。スマートフォンなら 24 時間いつでも予約ができます。予約は先着順のため、予約状況によってはご希望の時間に利用できないことがありますのでご注意ください。

※二次元バーコードから乗合タクシーの予約画面にアクセスできます。



### 運行時間

- 平日（月～金） 6 時 30 分～ 21 時 00 分
- 土曜日 7 時 00 分～ 21 時 00 分
- 日曜日、祝日 7 時 00 分～ 19 時 00 分

### 利用料金 1 人 1 回（片道）

大人 500 円 / 小人 300 円

### 利用予約＆問い合わせ

株式会社越生タクシー（運行事業者）  
電話 049-292-8181